

大阪版カーボンフットプリントの 算定方法及び算定結果の表示 方法について

令和4年10月17日

一般財団法人大阪府みどり公社

令和4年度 第二回大阪版カーボンフットプリントの算定方法等に係る
検討会

1-1. 算定の基本的な考え方

【GHG排出量の算定方法】

「生産段階」「輸送段階」それぞれで発生するGHGは、下式により削減量を評価する。

標準値 — 個別の排出量 = GHG(温室効果ガス)削減量

算定範囲	標準値	個別の削減量の例
生産段階	大阪府内における慣行栽培によるGHG排出量	大阪エコ農産物 (肥料や農薬の使用減に起因するGHG排出量の削減)
輸送段階	大阪府外からの一般的な流通によるGHG排出量	地産地消による輸送距離の縮小に起因するGHG排出量の削減

1-8. 試算結果

品目	主要な産地					全取扱量 に占める 割合	輸送距離 (k m)	標準値 (kg-CO ₂ /kg)	生産地から 最寄りの直売所
なす	高知	福岡	山梨	岡山	徳島	77%	389	0.057	0.03
とまと	福岡	石川	岐阜	北海道	佐賀	62%	521	0.076	
きゅうり	佐賀	鹿児島	福島	茨城	高知	87%	699	0.102	
キャベツ	愛知	群馬	長野	茨城	兵庫	83%	320	0.047	
たまねぎ	北海道	兵庫	佐賀	長崎	和歌山	98%	1122	0.163	
青ネギ	香川	三重	徳島	鳥取	京都	91%	189	0.027	
みかん	和歌山	佐賀	愛媛	徳島	熊本	96%	333	0.048	
米	—	—	—	—	—	—	—	—	

※1) 米については、大阪府中央卸売市場で取り扱っておらず算定不可。

※2) 輸送距離以外のパラメータ（燃費、最大積載量、積載率）は前回と同様（PCRの輸送シナリオ）とした。

2-3. 生産段階の標準値について

農林水産省「温室効果ガス簡易算定ツール」では標準値を都道府県別に設定。

一方、輸送段階では標準値を全国平均（もしくはは主要5産地）に設定。

「温室効果ガス簡易算定ツール」の全国平均および大阪府の標準値比較

標準値	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ e / kg)				
	トマト露地	トマト施設	キュウリ露地	キュウリ施設	米
全国平均	1.02	2.25	1.21	2.13	2.34
大阪府	1.09	2.23	1.27	2.24	2.29

※) 全国平均値は47都道府県の標準値から算定

全国平均の標準値と大阪府の標準値に大きな差はなかった。
算定ツールで選択できる大阪府の標準値を使用予定。

2-5. 11月の実証で算定対象となる農産物

11月の実証で取り扱う大阪産農作物のうち、下表の品目については第一回検討会で試算した方法（排出原単位に3 EIDを使用）により生産段階の算定が可能。

品目	栽培方法	GHG排出量(kg-CO ₂ / kg)
キュウリ	抑制半鉄骨ハウス	0.242
	抑制パイプハウス	0.360
キャベツ	夏まき	0.150
なす	半促成半鉄骨ハウス	0.260
	半促成パイプハウス	0.300
みかん	個選	0.224
	マルチ	0.332

実証時の対応

- ・キュウリは、農林水産省の「温室効果ガス簡易算定ツール」により算定。
- ・キュウリ以外については、上記試算を標準値として算定予定。
⇒実証現場では、あくまで試算である旨を補足する。

3-1. 算定結果の表示ラベルのイメージ

- 他ラベルとの抱き合わせ

(例)



見える化の効果検証について

令和4年10月17日

一般財団法人大阪府みどり公社

令和4年度
検討会 第二回大阪版カーボンフットプリントの算定方法等に係る

消費者への訴求方法

- 店内での展示のイメージ
 - 展示パネルによるカーボンフットプリントの啓発
 - POPによるラベル（算定結果）の表示



出展：「イオンのカーボンフットプリントの取り組み」より抜粋

効果検証

- 検証したい内容

- GHG削減効果を記載したラベルが商品購入に影響を及ぼしたか
- 見やすい(内容が理解しやすい)ラベルの表示はどれか